

き ず 京都創傷の寺子屋セミナー

～ 外用薬・創傷被覆剤の使い方 & 特定行為 ～

開催日時：2026年5月30日（土）

第1部 9:00～12:00

～ 外用薬・創傷被覆剤の選択、使い方のいろは～

第2部 13:00～17:00

創傷管理関連特定行為メンテナンス講習
（デブリードマン、NPWT、縫合など）

参加可能人数

第1部 60人程度

第2部 20人程度

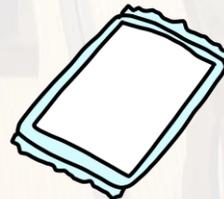
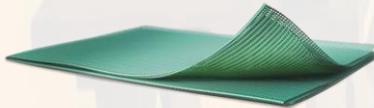
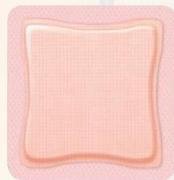
第2部は指導者数の関係で少人数での開催となっております
申し込みは先着順となりますので、参加ご希望の方は早めの申し込みを
お願い致します

参加費

第1部 ￥ 1,000 第2部 ￥ 5,000

開催場所：株式会社 増田医科器械

〒612-8443 京都府京都市伏見区竹田藁屋町50



き ず
京都創傷の寺子屋

2026年 第2回 京都創傷(きず)の寺子屋セミナー開催に当たり

今年2回目の京都創傷の寺子屋セミナーです。今回は昨年10月に行った形を踏襲し2部制としました。

1部のテーマはみなさんが一番(?)興味があるであろう、外用薬、創傷被覆剤に関してです。

どの創傷に、どのタイミングで何をを使うかということは経験があってもなかなか難しい判断になります。

教科書的なお話だけではなく、実践に即した選択、使用方法をお伝えできればと思っています。

最低限の講義の後、我がセミナーの真骨頂、ハンズオンで理解を深めていただきます。

2部は、昨年10月にも行いました、特定行為のメンテナンス講習会です。

繰り返しになりますが、特定行為研修が終了したのに実践が出来ていない方や、現在特定行為研修中、

あるいは、これから特定行為研修を受けようと考えている方向けのハンズオンをメインとした実践演習となっています。

前回の内容は維持しつつも、ブラッシュアップし、再度参加しても価値のある内容を現在検討中です。

手前味噌で恐縮ですが、創傷管理関連の特定行為であるNPWT、デブリードマンや縫合などの実践演習を豚皮や実機を用いて、開催しているセミナーはほとんど無いと思いますのでふるってご参加ください。

参加地域は制限していません。日本全国どちらからでも参加可能ですので、特定行為を実践できておらず困っている遠方のご友人がおられれば、参加をお勧めいただければと思います。

京都創傷の寺子屋 代表 村上啓司

京都創傷(きず)の寺子屋とは

我々の法人を知らない方々へ少し自己紹介をさせていただきます。

京都創傷(きず)の寺子屋とは、2021年3月に有志が集まって発足した、創傷に特化した活動を行うNPO法人です。発足以来セミナー、講習会などを行ってきました。

我々の行っているセミナーはハンズオン、実践演習中心のセミナーです。今でこそ何処でも行われるようになっていますが、その先駆けだと自負しております。

セミナー前半は講義形式で最低限の知識を頭に入れてもらい、後半は多くの時間を使って、

ハンズオン、実践演習を行って、前半の講義で得た知識を今日から、今から現場で使える知識に

してもらえるようにという流れで行っています。コロナ禍以降、流行(はやり)のwebセミナーでは出来ない実践演習なので、知識技術の定着もしやすいと考えております。

創傷に関する基本的なことから創傷関連の最新のトピックスまでテーマとして扱っておりますので、皆さんの興味があるテーマを扱っている回で参加して頂ければと思います。

右のQRコードを読み取って頂くと、Peatixでの申し込み画面が表示されます。

内容を確認の上、参加希望のセミナーを選択して、必要事項を記入の上、決済まで進んでください。

不明な点は下記お問い合わせにご連絡ください。



お問い合わせ

京都創傷の寺子屋

Mail: kizunoterakoya@gmail.com